

2・2 生活化学部

平成 24 年度は、行政依頼検査として食品中の残留農薬検査、食品、食品添加物の規格基準検査、畜水産食品中の動物用医薬品残留検査及び家庭用品の有害物質検査のほか、熊本県食の安全安心推進条例に基づく県産農林水産物中の農薬・動物用医薬品の出荷前残留検査を実施した。

その他、農林水産部からの依頼による松くい虫防除に使用する薬剤の残留調査を実施した。

主な試験検査及び調査研究の概要は次のとおりである。なお、業務実績表を別表に示す。

2・2・1 試験検査

1) 食品・食品添加物等の規格基準検査

食品中の添加物検査として、保存料、甘味料、酸化防止剤、着色料、漂白剤等の検査を実施した。使用基準値超過及び指定外添加物は検出されなかった。

食品成分規格検査では、清涼飲料水、玄米等について実施したが、基準値を超えたものはなかった。

2) 魚介類の水銀検査

県内で漁獲され、県内に流通している魚介類の総水銀検査を実施してきたが、平成 13 年度からは総水銀検査を保健所試験検査課で行い、当所では暫定的規制値を超える検体について有機水銀検査を実施することになっているが、平成 24 年度は該当する検査はなかった。

3) 畜水産食品中の動物用医薬品残留検査

生産段階で使用される動物用医薬品及び飼料添加物等が、食肉・魚介類等の畜水産食品中に残留している実態を把握するため、食肉、養殖魚介類、牛乳及び卵について、動物用医薬品の検査を実施した。食品衛生法の基準値を超えるものはなかった。

4) 食品中の残留農薬検査

輸入食品を含む野菜、果実、茶等の農作物について、残留農薬試験を実施した。食品衛生法の基準値を超えるものはなかった。

5) 特定アレルギー物質検査

食品中の特定アレルギー物質（小麦、乳、卵、そば、落花生、及びえび、かに）の表示確認試験を実施した。菓子 1 検体に落花生の表示違反があった。

6) 家庭用品中有害物質含有検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基

づき、試買した繊維製品中のホルムアルデヒド及びディルドリン、家庭用洗浄剤の水酸化ナトリウム・水酸化カリウム等について検査を実施したが、基準値を超えるものはなかった。

7) 医薬品等に関する試験検査

平成 24 年度は、該当する検査はなかった。

8) 器具、容器包装の規格基準検査

食品の調理、製造加工、運搬及び保存などに用いられる器具及び容器包装については、食品衛生法によってその材質毎に規格基準が定められている。平成 24 年度は陶磁器、ガラス容器、合成樹脂製品について防かび剤、二酸化硫黄、蛍光増白剤、重金属などの試験を実施した結果、限度値を超えるものはなかった。

9) おもちゃの規格基準検査

おもちゃについては、食品衛生法によってその材質毎に規格基準が定められている。平成 24 年度は、着色料、重金属の試験を実施した結果、指定外着色料は不検出であり、重金属の限度値を超えるものもなかった。

10) 食品苦情に伴う理化学的原因調査

平成 24 年度は、該当する検査はなかった。

11) 松くい虫特別防除薬剤残留検査

球磨郡あさぎり町において、平成 24 年 5 月下旬から 6 月中旬に実施された松食い虫防除の影響調査のため、流域の河川水と水源における使用薬剤の残留試験を実施した。

12) GLP に関する精度管理試験

食品衛生外部精度管理調査に参加した。
調査項目は、重金属（Cd）、食品添加物（ソルビン酸）、残留農薬（マラチオン、クロルピリホス、フルトラニル）

及び 残留動物用医薬品（スルファジミジン）であり，結果は概ね良好であった。

14) 熊本県食の安全安心推進条例に基づく出荷前農薬等残留検査

県産の主要な農林水産物について残留農薬，動物用医薬品の出荷前検査を実施した。食品衛生法の基準値を超えるものはなかった。

15) 危機管理検査

平成 24 年度は，ヒスタミンが原因の中毒事件が 1 件発生し，原因物質究明のための検査を実施した。

16) 一般依頼試験

平成 24 年度は，該当する検査はなかった。

2・2・2 調査研究

1) 健康危機に対応した加工食品中農薬の迅速分析法に関する研究

昨年度開発したアミノ酸系農薬 4 種類（グリホサート，グルホシネート，AMPA 及び MPPA）の迅速分析法につい

て，5 種類の飲料試料（お茶，牛乳，オレンジジュース，コーヒー及びミネラルウォーター）を用い，分析法の妥当性評価を行ったところ良好な結果が得られた。

2) 畜産物内臓中動物用医薬品の迅速分析法に関する研究

鶏及び豚の肝臓試料を用い，内臓中動物用医薬品の一斉分析法を作成した。本分析法について，ガイドラインに基づく妥当性評価試験を行ったところ，良好な結果が得られた。

3) ニテンピラム及びその代謝物の一斉迅速分析法の開発

高極性化合物を分析可能な HILIC-MS/MS 法により，ニテンピラム，CPMA 及び CPMF を一斉に定量可能な分析法を開発した。

4) ダイエット用健康食品に含まれる医薬品成分の迅速一斉分析法の開発

ダイエット用健康食品中から検出された事例のある医薬品 18 成分について，LC/MS/MS を用いた迅速一斉分析法を開発した。

生活化学部業務実績表

分 類	事 業 名	業 務	平成24年度		平成23年度	
			検体数	延項目数	検体数	延項目数
行政検査	(1) 食品・添加物等の規格基準検査	(イ) 清涼飲料水成分規格	26	104	24	96
		(ロ) 人工甘味料	73	109	67	106
		(ハ) 合成着色料	54	804	52	828
		(ニ) 合成保存料	72	115	66	109
		(ホ) 発色剤 亜硝酸ナトリウム	1	1	0	0
		(ヘ) 漂白剤 二酸化硫黄等	3	3	2	2
		(ト) プロピレングリコール	2	2	2	2
		(チ) 米（玄米）中Cd	6	6	6	6
		(リ) 酸化防止剤	31	183	33	198
		(ス) 防かび剤	5	20	4	16
		(ル) メラミン	0	0	0	0
		小 計	273	1,347	256	1,363
	(2) 魚介類の水銀検査	0	0	0	0	
	(3) 畜水産食品中の動物用医薬品残留検査	71	8,782	71	8,408	
	(4) 食品中の残留農薬検査	(イ) 野菜,果実,米穀,茶	127	56,135	122	54,790
		(ロ) 輸入・国産食肉	0	0	0	0
		(ハ) 牛乳	0	0	0	0
		小 計	127	56,135	122	54,790
	(5) 特定アレルギー物質検査	42	52	46	66	
	(6) 家庭用品中有害物質含有 検査	(イ) 繊維製品	25	50	24	50
		(ロ) 家庭用洗浄剤等	5	10	5	10
		小 計	30	60	29	60
	(7) 医薬品等に関する試験検査	健康食品	0	0	0	0
	(8) 器具・容器包装規格基準検査	材質及び溶出試験	18	66	20	60
	(9) おもちゃの規格基準検査	12	52	10	54	
	(10) 食品苦情に伴う理化学的原因調査	0	0	0	0	
	(11) 松くい虫特別防除薬剤残留検査	14	14	14	14	
	(12) GLPに関する精度管理試験	合成保存料,重金属,	4	6	4	6
		残留農薬,合成抗菌剤				
	(13) フグ毒試験	テトロドトキシン	0	0	4	4
	(14) 熊本県食の安全安心推進条例に基づく出荷前農薬等検査	(イ) 野菜,果実,穀類,茶	66	15,169	63	15,204
		(ロ) 畜水産物	38	3,932	38	3,612
		小 計	104	19,101	101	18,816
	(15)危機管理検査	1	1	4	4	
	合 計	696	85,616	681	83,645	
一般依頼試験	0	0	0	0		
総 計	696	85,616	681	83,645		